

横高×とうもんの里×地域食材 「地域の魅力が詰まった商品開発」

【教科名】家庭科「課題研究」 総合コース（家庭）3年生

本校の総合コースの家庭科の授業では、毎年、地元食材を使用した商品開発に挑戦しています。令和4年度は3年生の「課題研究」の授業で、次のような狙いで、地元食材の「米粉」を使用したスイーツのレシピ作成と商品開発を行いました。

- *横須賀地区は稲作の敷地面積がとても広いので、米粉をPRしたい
- *米の自給率が低下しているため、米粉のお菓子を作ることで若者（高校生）が米を食べる機会を増やしたい
- *地域の良さを伝えられるお菓子が少ないので、話題になるものをつくって地域を盛り上げたい

地元施設の「とうもんの里」にアドバイスをいただきながら、試作を重ね、校内でコンペを実施。最優秀となったお菓子「米粉のシュークリーム」は地元洋菓子店「たこ満」で商品化され、販売（期間限定）をしていただきました。販売店舗によっては予約段階で完売したり、販売開始2、3時間で売り切れたり、大変好評でした。

また、コンペで1位にならなかったものの、優れた作品が多かったため、誰でも作れるようにと、レシピ集を作成しました。



「たこ満」での販売の様子



米粉のシュークリームとレシピ集